

新石川県立図書館基本構想の中間取りまとめ案に対する意見募集  
(パブリックコメント)の結果について

- 1 募集期間：平成29年2月17日（金）～平成29年3月17日（金）
- 2 寄せられた意見：136件

No.	意見内容（要旨）	左記に対する考え方
1	図書館としての機能（蔵書のための予算の拡充、人材の確保）を充実させて欲しい。	「地域の知的社会基盤としての県立図書館にふさわしい幅広い蔵書構成を目指すべく、多様な図書・雑誌・新聞やデータベース等の資料を多様にかつ体系的に収集・整理・保存する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
2	「文化立県」にふさわしい県立図書館にするためにも、年間図書購入費を大幅にアップして欲しい。	
3	県立図書館の役割の一つに資料の保存があると思うが、それは、その時々に必要な資料を確実に購入して保存するということ。資料費がないと、「なぜこの本が入っていないの？」ということになる。基本的な資料は揃えて欲しい。	
4	新図書館では、県・市町の別なく、行政資料の所蔵数を増やして欲しい。	基本構想では「新たに公文書館の機能を備える」「石川県に関する歴史・郷土資料、各種メディア情報を幅広く収集」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
5	自由に図書を手に出来るようにして欲しい。（館員に申し出なくても、自分で手に出来る。）	基本構想では、「開架図書を充実させる」「閲覧エリアにおける開架冊数を約30万冊と設定」しており、ご意見につきましては、今後、新図書館の開館に向けての準備を進める中で、検討していきたいと考えております。
6	行政資料については、利用しやすいように資料を開架式にして欲しい。	
7	貴重資料については、デジタル化することで、利用が促進されると思う。	基本構想では「保存のためのデジタル化や補修の在り方等を検討する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
8	新図書館建設に合わせて県公報のデジタルアーカイブ化を進めて欲しい。現状では明治期の公報は県立図書館でしか閲覧できないので、県民の利便性向上を図って欲しい。	現在、県公報は、県ホームページにおいて現年度分と過去5年度分を掲載しております。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
9	図鑑の種類を豊富にして、人気のあるもの若しくは安価なものについては貸出もできるようにして欲しい。	基本構想では「県民の多様なニーズに応えるため、図書・雑誌・資料やデータベース、デジタル化した資料、視聴覚資料、実物等を幅広く収集・提供する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。 なお、現在、県立図書館の図鑑の多くは、貸出の対象となっております。

No.	意見内容（要旨）	左記に対する考え方
10	新県立図書館に、『国宝 源氏物語絵巻・四巻』を展示して欲しい。国内のどこにも四巻を揃えて展示してあるところはなく、ニュース性もあり、一つの目玉となると思う。	基本構想では「展示スペースを充実する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
11	過去に石川県が発行した資料や、明治期の教科書、貴重書など、郷土資料を充実して欲しい。	基本構想では「過去から現代まで、石川県に関する歴史・郷土資料、各種メディア情報を幅広く収集・登録する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
12	どんな本が具体的に読みたいか、県民の声を吸い上げ実際に蔵書される仕組みを具体的に検討して欲しい。	現在、県立図書館では、本の購入のリクエストを受け付けております。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
13	中能登からも自由に蔵書検索し、送って貰えるようにして欲しい。	現在、県立図書館では、図書について最寄りの市町立図書館等で受取・返却ができる遠隔地サービスを実施しております。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
14	返却できる箇所を図書館だけでなく、公共的な施設やポストなど石川県規模であらゆる場所で可能になるよう広げて欲しい。	
15	新図書館で特設展示したものを、市町立図書館へ巡回展示を行う等、県立図書館にある資料を紹介して、相互貸借の周知や施設利用の促進に繋げて欲しい。	基本構想では、「市町立図書館とのネットワークの要となる」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
16	図書館は、子どもの読書支援を保障する場であることを打ち出して欲しい。児童サービスが縮小されることなく、更に充実されることを望む。	基本構想では「児童コーナーの図書等を充実するとともに、各種メディアを活用した親子が楽しめる機能を備える」「多様な人材を拡充する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
17	色々なメディア、色々な方法に繋がることができるのはとても意味があると思いますが、ぜひ児童サービスの専門家を常駐して頂きたい。	
18	県立図書館には、生活に密着した一次、二次産業の発展のフォローに重点を置いて頂きたい。	基本構想では「子育てをはじめ、健康・ビジネス・くらしの法律等、時代の変化にも合わせながら、図書・資料等のほか、専門機関・専門家の各種情報を収集し、調査・相談に応じる」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	意見内容（要旨）	左記に対する考え方
19	県内図書館の支援がおまけにならないようにして欲しい。学校図書館支援についても支援センターを作って欲しい。	<p>基本構想では、県立図書館が、県内文化施設や市町立図書館とのネットワークの要となるとしており、具体的には「県立図書館がモデルとなり、新サービスに取り組み、県内の市町立図書館へも展開する」「市町立図書館の人材の研修の場となり、職員のスキルのレベルアップに貢献する」「市町立図書館では購入が難しい専門書等も幅広く揃え、レファレンス・相互貸借・選書の参考等の役割に応え、高度化・多様化する県民ニーズに対応する」「市町立図書館、大学・専門図書館、学校図書館と協同しながら、所蔵資料を結ぶレファレンス・横断検索と相互貸借の物流を強化し、資料の広域利用を促進する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、現在、県立図書館では県内学校への本の貸出を行っています。金沢市以外の学校図書館から申込があった場合には、最寄りの公共図書館で図書を受取・返却できるサービスを行っています。</p> <p>また、学校図書館には県立学校も含んでいます。</p>
20	県立として県下の図書館（市町立、学校）を支える役割が見えてこない。	
21	県立図書館には、市町の図書館、小学校、中学校、高校、大学等の学校図書館を支える、中枢を担って欲しいが、その記述が少し足りないのではないか。	
22	<p>県立図書館の役割として、各市町村図書館への資料の提供・相互貸借があるが、他に、各市町図書館を通しての各学校図書館への資料の提供も必要。このことをきちんと明文化して欲しい。また、県立（私立）高校への資料提供も入れて欲しい。</p> <p>これからはもっと各自が能動的に学ぶための資料が必要となってくると思う。ぜひ高校をはじめ、小中学校図書館への支援をお願いしたい。また支援する際には、一般の貸出期間より長くなるため、必要な本は複数購入となるようにしてください。</p>	
23	<p>県立図書館はこれまでも市町立図書館を支えることに重点を置いて活動されてきました。設備が大きくなり、様々な機能が整ったとしても、この機能が求められる最重要の役割であることは変わりません。「中間とりまとめ案」では主体的にリーダーシップをとっていきこうという姿勢が弱いと感じます。</p>	
24	<p>県内小中学校図書館を市町立図書館を通して、豊富な資料で支えて下さい。市町立図書館だけでは子どもたちの「読みたい・知りたい」の日々の教育活動に必要な資料に十分応えられません。配送ネットワークを活用し支えて下さい。</p>	
25	<p>県内公立小中学校では学校司書の配置が進んできていますが、その多くは非常勤職員であり、自治体によっては研修がほとんどないところもあります。これまでも県立図書館主催の研修が貴重な機会になっていました。新図書館ではこれまで以上に学校司書を研修で支えて下さい。また、学校司書は一人職場です。レファレンス等で困ったときに気軽に相談でき、頼れる県立図書館であることを発信してください。</p>	
26	<p>県立高校をはじめとする県立学校についての記述がありません。特別支援学校・中学校を含め県立図書館の直接サービスの対象であると思います。物流を含めて充実を願います。</p>	

No.	意見内容（要旨）	左記に対する考え方
27	多くの県民が図書館に「足繁く通う」ことはほぼ不可能。通わなくとも「知的」サービスを受けられるシステムが必要。	基本構想では「市町立図書館と協同しながら、資料の広域利用を促進する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
28	市町図書館に対しての利用案内をもっと拡大して欲しい。	基本構想では「図書館で行われている活動等について広く周知するため、広報体制を充実する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
29	福井県文書館のホームページを見ると、「学校で使える資料」と言うものが出てきます。公文書などというと、難しくて使えないのかと思います。学校図書館への細やかなサービスを期待する。	基本構想では「研究者のみならず、より多くの人の利用や理解につながるような情報提供の在り方を検討する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
30	最近、研究が進み、万葉集や古代史への関心が高まってきているので、新県立図書館の分館として「県立万葉記念館」若しくは図書館内に「万葉記念コーナー」の設置を提案したい。	基本構想では「石川県に関する歴史・郷土資料を幅広く収集・登録し、整理をした上で、県民に分かりやすい形で提供する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
31	福井県のような郷土作家ルームが必要である。	
32	福井県のような公文書館が必要である。	基本構想では「新たに公文書館の機能を備える」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
33	様々な情報の発信・提供をしていますが、実例の記載が少ない。月替わりで「微生物を学ぶ」、「哲学の春」等のイベントを行い、知的好奇心をくすぐることはないか。司書による本の寸評を入れるのも、人々の興味の幅を広げる。そういう工夫をすることが必要ではないか。	基本構想では「文字によらない‘知との出会い’として、いつも何かをやっている図書館として日常的にイベントを開催し、賑わいを創出する」「県内文化施設等の企画と連動したギャラリートーク等各種イベントの開催や、情報の収集・提供・発信を行う」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
34	文化施設の資源を有機的に結びつけるとしているが、イベントでタイアップすることもあるのではないか。	
35	図書とコラボした、木を使ったプログラムを企画して欲しい。	
36	県内他文化教育施設の機能はそこで利用すれば良く、県立図書館が同じ事をする必要はない。	基本構想では「相互の利用促進につなげる等、図書館がハブとなった文化施設とのネットワークを構築する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	意見内容 (要旨)	左記に対する考え方
37	人を集める為のイベントが多いが、そのことで本来の図書館業務がおろそかになっては困る。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
38	インターネットで蔵書の貸出状況を確認できるシステムの導入・充実をして頂きたい。	基本構想では「使いやすい図書検索、図書等の保護管理のためのシステム等を検討する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
39	貸出、返却、予約システムの今以上の充実を希望する。Webでの確認、検索、予約等が楽になればよい。市の図書館等とシステム連携できればなお良い。	なお、現在、県立図書館ホームページにある利用者ポータルにおいて、蔵書の貸出状況の確認をすることが出来ます。
40	WiFi等のネット接続環境を充実させてほしい。全フロアどこでもネット接続できるのが理想だが、最低でも各フロアに数か所の接続可能エリアが欲しい。	基本構想では「情報ネットワークアクセス環境については、持ち込みのノートパソコンやタブレット等も利用できるように、インターネット環境を整備すると共に、利用者への情報端末の館内貸出も検討する」としており、ご意見につきましては、今後、新図書館の開館に向けての準備を進める中で、検討していきたいと考えております。
41	パソコンを沢山置いて、インターネットが自由に出来るようにして欲しい。	基本構想では「図書の利用頻度も考慮して、自動化書庫や公開書庫を活用する等、来館者が図書等に容易に短時間でアクセスできる環境を整る」「自動貸出機等の導入による迅速な図書の貸出や、使いやすい図書検索、図書等の保護管理のためのシステム等を検討する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
42	書籍にICタグをつけて読み取り装置にかざすと、その本の情報が一覧で見ることが出来るシステムがある。また、ICタグは、1冊1冊チェックする必要がなく、まとめたの貸し出し、返却が一気に可能という効率化も図れる。自動貸し出しシステムもあり、混雑時の待ち時間が削減できるのではと思う。児童対象で「読書通帳」という機能もあり、子どもたちの読書意欲を高められるのではと、思う。	基本構想では「図書の利用頻度も考慮して、自動化書庫や公開書庫を活用する等、来館者が図書等に容易に短時間でアクセスできる環境を整る」「自動貸出機等の導入による迅速な図書の貸出や、使いやすい図書検索、図書等の保護管理のためのシステム等を検討する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
43	自動化書庫については、メリット、デメリットがある。どこを自動化するのかなど、費用とのバランスも考慮願う。	
44	公開書庫の活用の場合、「貸出手続き確認装置(電子セキュリティー)」も必要になってくると思うが、その費用と手続きについても考慮願います。システム導入が便利なのか、不必要なものなのか、入れるとするとどういう風に入れるとよいかなど、現場の人も交えて討議してもらいたい。	
45	自動化書庫を導入すると、本が見えなくなり、利用者へ即座に本を提供することが難しくなるのではないか。	
46	未来のレガシーになるようなハイレベルな建築は必要ない。ハコではなく、システムにお金を使って欲しい。	基本構想では「最新のシステム導入」について記載しており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	意見内容（要旨）	左記に対する考え方
47	親が子どもの面倒を見なくても本を閲覧できるように、図書館に保育スペース的なもの、若しくは公園や遊び場を設置して欲しい。	基本構想では「児童コーナーの図書等を充実するとともに、各種メディアを活用した親子が楽しめる機能を備え、また、子どもやその保護者も快適に過ごせる施設・設備等とする」としており、ご意見については今後の参考とさせていただきます。
48	子ども達でいっぱいになる魅力的な場所を作って欲しい。（木製の本棚、ゆっくり読書出来るスペース、おはなし会が出来るスペース、木製の机椅子、ベビーカーが通れる幅の確保、教科書の公開、学習文庫の充実、研修会の増など）	
49	子どもが大きな声で本を読んだり遊んだりするスペースを作って欲しい。	
50	子供が居心地の良い居場所となる空間を、作ってください。	
51	未来に活躍する子ども達のためにも、そのサポート活動をしている周囲の大人達のためにも、子どもの読書環境を整え、充実させていかなければならない。	
52	新図書館には、紙芝居が上演でき人々が集えるコーナーの設置を提案する。広くなくても、ほっこりできる空間、幼児から高齢者まで気軽に集える場所が欲しい。	基本構想では「県民に開かれた場として、文化活動・交流の舞台とし、その活動や交流を支援する」「屋外空間と一体的な利用ができる屋内広場、多目的ホール、交流ルーム(研修室)、映像資料の上映会も可能なスペースといった多様な空間を設ける」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
53	郷土資料等の研究発表の場を設けて欲しい。	
54	読書活動や勉強会などの学習・交流の場を持てるようなスペースが欲しい。	
55	1日中集中して勉強したい若しくは図書館を利用したいと考える人のために、飲食可能箇所を設置をお願いしたい。	
56	団らんスペース、コーヒースペースが欲しい。	基本構想では「来館時の憩いや語らい等の場として、飲食できる場（カフェ等）を設ける」としており、ご意見につきましては、今後、新図書館の開館に向けての準備を進める中で、検討していきたいと考えております。
57	自主学習スペース若しくは閲覧箇所を1つでも多くして、市民の利用しやすい「開放的な」図書館にして欲しい。	基本構想では「閲覧室は、十分な席数を確保し、利用者に提供する」「集中した読書・勉学・研究等を行う静寂を保った部屋や、会話しながら活用できるグループ学習室等、利用形態に合わせた機能・空間を設ける」「閲覧エリアの閲覧席数は約500席と設定」としており、ご意見につきましては、今後、新図書館の開館に向けての準備を進める中で、検討していきたいと考えております。

No.	意見内容（要旨）	左記に対する考え方
58	DVD を館内で視聴できるコーナーを設置して欲しい。	基本構想では「県民の多様なニーズに応えるため、図書・雑誌・資料やデータベース、デジタル化した資料、視聴覚資料、実物等を幅広く収集・提供する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
59	手荷物をわざわざロッカーに入れてから閲覧室に入ることは正直面倒かつ不便であり、セキュリティ面を磁気式にするとか違う方法を検討して欲しい。	基本構想では「図書等の保護管理のためのシステム等を検討する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
60	コインロッカーは是非とも設置して頂きたい。大きな図書館ほど移動するのが大変。手荷物を最小限にして、フリーハンドで利用できるように整備して欲しい。	基本構想では「県民及び国内外からの訪問者が利用しやすい環境となるよう、施設・設備等について検討する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
61	是非、和式のトイレを設置して頂きたい。	基本構想では「来館者の様々なニーズに応じた環境を設ける」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
62	特に金沢は大学や支店が多いので、定年された先生や支店長の転勤等で不要な本が沢山出てくる。それらを集める集積所を作って欲しい。寄付をした人は沢山いる。	基本構想では「県民の多様なニーズに応えるため、図書・雑誌・資料やデータベース、デジタル化した資料、視聴覚資料、実物等を幅広く収集・提供する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
63	図書は増える一方なので、長期的に十分な収蔵能力が必要。	基本構想では「開館後 50 年程度先の図書・資料等の収集を見据え、書庫エリアの収蔵能力を約 200 万冊と設定」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
64	貴重資料については、適切な管理を続けて欲しい。	基本構想では「図書・資料等を後世に継承するため、保存のためのデジタル化や補修の在り方等を検討し、必要書庫・設備を導入する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
65	本が傷むので、地下室に図書を保管しないで欲しい。	
66	新設の公文書館の書庫の中に、原発の放射能に耐える塗装した大型の金庫を 1 台配備して欲しい。また、書庫自体が耐火・耐震の構造であるものであればなお良い。	
67	車に乗ったまま返却できる「ドライブスルー」で返却ができると良い。また、予約図書の貸出も「ドライブスルー」が出来ると便利だと思う。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	意見内容（要旨）	左記に対する考え方
68	大規模地震等も想定して、新図書館は、飲料水を兼ねた地下消防タンクを兼ね備えて欲しい。地域の避難所機能も兼ね備えられるようにして欲しい。	避難所については、災害対策基本法に基づき、市町が指定するものとなっております。金沢市では、先般、金沢美術工芸大学の基本構想をとりまとめ、その中で「地域防災拠点機能を備えた施設整備に取り組む」と記載をしていることから、まずは、金沢市において、こうした周辺の状況も踏まえて、防災拠点のあり方を検討いただくべきものと考えており、金沢市にもこの旨を伝えているところです。 なお、基本構想では「災害時の安全確保・周辺環境に配慮する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
69	津波の際の巨大避難場所として使用できる場所にして欲しい。	
70	県民の憩いの場所のみでなく、県外の人にも北陸新幹線を降りて、ふらりと見て回る名所の一つになることを期待する。	基本構想では「石川がこれまで紡いできた風土や文化をふまえ、石川だからこそ生まれる美しさをデザインとする」「多くの人を惹きつけ、長きにわたって評価され、記憶に残るシンボル性を有するものとする」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
71	北陸新幹線も開業2年で想像以上の経済効果があがっている。今後新しい石川県の魅力のひとつとなり、金沢で行ってみたい施設として名が上がるような図書館になってほしい。	
72	図書館を観光客誘致のためのモニュメントにしないで欲しい。	
73	お金をかけるならば、外観ではなく、図書館活動の維持に使って欲しい。	
74	地下水の空調利用などは簡単なハードであり、できるだけ地元産業への影響を与えるものとするべき。また太陽電池をはじめ、再生可能エネルギー機器への避雷対策などは、石川県に優良メーカーも存在しておりそれをアピールできる場となる。石川県は冬季の暗い空のイメージがあり、それを払拭するデザインとそれに基づく低環境負荷を両立する新図書館を実現して頂きたいと願う。	基本構想では「石川の気候を考慮し、自然条件に適応した環境性能を有するものとする」「ライフサイクルコストの低減等の環境負荷が少なく、維持管理の経済性を考慮したものとする」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
75	北陸の天候を加味した雨や雪がひどいときにも出入りしやすい造りを検討してほしい。（雨風や風雪でも濡れないで建物に入ることが可能なアプローチ。駐車場、バス停は屋内に設置、または屋根付き。）	



No.	意見内容（要旨）	左記に対する考え方
76	石川県には金沢駅、鼓門、金沢城、茶屋街等木造建築の名所が多くあります。新県立図書館も新しい木造建築としてこの名所の一角を飾って欲しい。	基本構想では「石川がこれまで紡いできた風土や文化をふまえ、石川だからこそ生まれる美しさをデザインとする」「多くの人を惹きつけ、長きにわたって評価され、記憶に残るシンボル性を有するものとする」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
77	県産材をふんだんに使用し、子どもから大人まで、利用者にとって居心地が良く快適な空間として末永く親しまれ、木材利用を促進する公共建築物のシンボリックな建物として、新図書館を建築して欲しい。	
78	生まれたときから図書館に来ることで、図書館が生涯の居場所になってほしい。そのためにも、石川県産材を使い、木質化されたスペースに、木のおもちゃや木に触れられるものを設置して欲しい。	
79	昨今、新国立競技場の木質化の影響もあり、国産材を利用する集成材が、注目を浴びている。今はまだ耐火集成材という商品の認知度は低いですが、新県立図書館に利用して、石川県の県産材の有効活用を全国にアピールしてはどうか。	
80	お母さんが赤ちゃんを連れて通いたくなる、子どもたちを連れて家族で行きたい、そんな図書館にしてもらいたい。また、小さいときから、何度も訪れることで、親しみをもち、大人になってからも、子どもを連れて通いたくなる、親しまれる図書館を希望する。（イメージは東京おもちゃ美術館の「赤ちゃん木育ひろば」「おもちゃの森」）石川県内は、小さな子どもたちを連れて過ごせる場所が数少ない。まずは、木質化した癒やしの空間を提供することで、繰り返し通いたいと思う図書館にしてほしい。石川県の特長を活かした木質化を考えてぜひ提案させてほしい。	基本構想では「利用者も使いやすく、職員も働きやすい動線となるよう工夫する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
81	図書館としての使いやすさ、職員の働きやすさに重点を置いて欲しい。	
82	利用者や職員の動きを考えると、奥行きが深すぎたりフロアがあまりにも広いと移動に時間がかかり、スペースももったいないのではないか。	基本構想では「閲覧室の自然光への対策等のほか、石川の気候を考慮し、自然条件に適応した環境性能を有するものとする」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
83	ガラス張りや吹き抜けが流行っているが、本が日焼けするし、明るすぎる室内は調べ物や読書には不要ではないか。	
84	閲覧室の設置場所については、夏の日照り、冬の雪の吹きつけ等も考慮して欲しい。	
85	見晴らしの良いスペースが欲しい。	基本構想では「館全体として開放的で快適性を備える」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	意見内容 (要旨)	左記に対する考え方
86	建築設計のコンペは、国内外を問わず、募集し、石川県の文化や歴史をふまえ、より未来へ可能性の広がる、内外の注目を集める建物を建ててもらいたい。中間取りまとめ案にも、記載されていたが、自然を取り入れた居心地のいい快適な空間であることが重要だと思う。注目は集めるが決して奇抜というイメージではなく、石川県らしい建物になることを期待している。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
87	県立図書館と金沢美術工芸大学は一体的な施設とした方が人口減少時代を迎えるにあたり合理的であり様々な利用もできるので、一つの建物の中に、野球やサッカーが出来る屋内グラウンドを作り、階段状の観客席の下を図書館、大学としてはどうか。悪天候でも野球サッカーが楽しめ、読書ばかりでなくランニングやウォーキングを楽しむこともできる。	金沢大学工学部跡地については、金沢外環状道路山側幹線からのアクセス道路の新設や、この道路により分割される敷地について、県は北側の約 3.4 ヘクタールを、金沢市は南側の約 4.7 ヘクタールを取得・活用することで合意しております。なお、工学部跡地全体の利活用について、今後とも、金沢市と連携しながら進めていきたいと考えております。
88	金沢美術工芸大学と隣接ということもあるので、2施設のイメージの一体感があってもいいと思う。環境デザインの学生の作品もおもしろいと思う。	
89	高齢化社会を迎え、今やマイカー利用に頼らざるを得ない時代かと思われまます。従って、駐車場を相当の容量として欲しい。	基本構想では「全県からのアクセスに対応して広い駐車場を整備する」「駐車場の概ねの規模を約 400 台と設定」としております。
90	「駐車場、公共交通での来館者に配慮する」とあるが、想定している駐車場台数を示してもらいたい。	
91	図書館の利用者の滞在時間は他の施設に比べ長いと思われる。新しい図書館は住宅街に立地することから、周辺道路の渋滞緩和のため、駐車台数には配慮して欲しい。	
92	公共の施設全般で駐車場が少なすぎる。新しい図書館では、広くて沢山の車が止められる駐車スペースを用意してほしい。可能なら、地下2F～3Fもしくは、地上3Fくらいまでが駐車スペースになっていて500台くらい止められるのが良い。	
93	駐車場を十分多くして欲しい。	
94	赤ちゃんを連れて行くことを考え、駐車場は屋根付き若しくは地下、屋上が良い。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
95	図書館利用者は無料で、その他の利用者は有料で開放するなど、多少の配慮はあってもよいと思う。図書館のサービスを利用したら無料にするなどでも良いと思う。	

No.	意見内容（要旨）	左記に対する考え方
96	駐車場の冬季の融雪装置について、地下水の資源は無限ではありません。環境面への配慮をお願いしたい。	基本構想では「周辺環境にも配慮する」「石川の気候を考慮し、自然条件に適応した環境性能を有するものとする」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
97	駐車場の融雪設備を充実して欲しい。	
98	公共交通機関とのバランスもあるが、曜日、時間帯によってはバスの本数を増やすことも考える必要があるのではないか。	基本構想では「公共交通（バス）やその他交通手段で来館される利用者にも配慮した施設とする」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
99	駐車スペースの確保が難しい場合には、公共交通機関を利用するしかなくなる。そうすると、公共交通機関の運行スケジュールの充実をお願いしたい。一般バスやふらっとバスの運行を充実して、気軽に公共交通機関で通える環境にしてほしい。	
100	兼六園、金沢駅、県庁からの路線バスの本数を増やして欲しい。	
101	金沢美術工芸大学との境に計画されている道路上にバス停を作り、路線バスやふらっとバスが利用し易くなると良い。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
102	田上、杜の里からは能登方面へ、笠舞、平和町からは加賀方面へ、道路が整備されるように考えて欲しい。	
103	司書あつての図書館である。カフェやイベントも良いが、何より頼れる司書がいれば、人は出向く。	基本構想では「新たな県立図書館は、図書の貸出や閲覧機能だけでなく、公文書館機能・生涯学習機能を一体的に備える」ため、「多様な人材を拡充するとともに、新たなサービスの開始に向け、キュレーション能力向上の研修、リエゾンライブラリアンとしての専門分野の研修、アーキビストとしての研修の充実について検討する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
104	司書の数を増やして頂きたい。	
105	建物やコンセプトもそうだが、何よりも大切なのは職員である。司書は経験して積み上げていく専門職だと思うので、外部委託はせず、正規職員の人数確保、職員のレベルアップを行って欲しい。	
106	「多様な人材の拡充」とはどういうことか。図書館に必要なのは司書です。司書資格者比率・正規職員をもっと多くすべき。「多様」などと書かれると、専門職以外の職員（たとえば、派遣職員）などになってしまうのではと危惧します。「多様な人材」という言葉ではなく、必要な専門職を書いてほしい。	
107	公文書館の役割も県立図書館が行うように書かれているが、専門職を採用することが必要ではないかと思う。	

No.	意見内容（要旨）	左記に対する考え方
108	運営は、指定管理や委託ではなく、直営を希望する。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
109	運営は直営方式で、県の意志をしっかりと反映させていくのが理想的である。	
110	<p>今の県立図書館については、職員は頑張っていると思います、しかし、いかんせん建物が古くて、冬は寒い。また駐車場が狭く、天候が悪いと行きにくい。そしてなんといいっても、資料費が全国でもワーストから数えたほうが早いという、「天下の書府」はどこへ行った？という状態でしたので、それが解消できるのはとてもうれしいことで、楽しみにしています。</p> <p>現在、図書館のサービスとして行われているメールマガジンにて、イベント案内、興味のあるジャンルの新刊案内や、いつも知りたいと思っているキーワードの書籍を紹介してもらっています。こういう「人と資料を結ぶ」ということは、とても大事で、これからもどうぞお願いしたいと思っています。</p>	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
111	開館の時間について、土曜日、日曜日は開館時間を早くして閉館時間は遅く、平日は少し遅めまで開いてほしい。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
112	祝日、休日、年末年始こそ利用したいので、開館して欲しい。	
113	新県立図書館の代表電話の番号を覚えやすいものにして欲しい。（最後の4桁を1111,211にする等）	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
114	図書館を維持するための十分な予算を確保して欲しい。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
115	新しくなっても、今までの県立図書館の運営方針及び重点事項をしっかりと実現して欲しい。	新県立図書館は、これまでの伝統を受け継ぎながら、今後、長きにわたって県民の皆様にご利用いただける図書館となることを目指しております。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
116	他県事例を参考に、良い所を受け入れることは大切だが、現在の石川県立図書館の良いところ（子どもの本の広場の蔵書構成、レファレンス対応など）を全面に打ち出しても良いのではないか。	

No.	意見内容（要旨）	左記に対する考え方
117	<p>整備にあたり市町立図書館との役割分担を提案したい。</p> <p>蔵書については、県立図書館には市町立図書館では所蔵が難しい高価な図書や専門書などを中心に蔵書してほしい。</p> <p>郷土資料などのレファレンス機能の充実強化を求めたい。</p> <p>広い視野で市町立図書館を補完、支援する役割に特化することを期待したい。</p>	<p>基本構想では「市町立図書館とのネットワークの要となる」「県立図書館がモデルとなり、新サービスに取り組み、県内の市町立図書館へも展開する」「市町立図書館の人材の研修の場となり、職員のスキルのレベルアップに貢献する」「市町立図書館では購入が難しい専門書等も幅広く揃え、レファレンス・相互貸借・選書の参考等の役割に応え、高度化・多様化する県民ニーズに対応する」「市町立図書館、大学・専門図書館、学校図書館と協同しながら、所蔵資料を結ぶレファレンス・横断検索と相互貸借の物流を強化し、資料の広域利用を促進する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
118	<p>県と市が協力し合い、お互いに機能を強化できる仕組みを考えて欲しい。</p>	
119	<p>県立図書館職員の意見や要望も取り上げて欲しい。</p>	<p>新図書館プロジェクトチームのメンバーには、県立図書館の職員が入っており、県立図書館とも連携して、検討を進めてきております。</p>
120	<p>現在の職員の方の意見を一番に聞いて欲しい。</p>	
121	<p>有識者だけでなく、一市民、一利用者の意見を検討委員会に反映して欲しい。</p>	<p>新県立図書館基本構想の策定にあたり、図書館に関する専門的な見識を有する者等で構成する検討委員会を設置して検討を進めており、これまでの開催結果は県ホームページで公表しております。</p>
122	<p>検討委員会が開催されるごとにその内容を県民に示し、その都度パブリックコメントを募集して欲しい。</p>	<p>先般、中間とりまとめを行ったことから、県民の皆様のご意見を募集いたしました。</p>
123	<p>「子どもの読書活動推進」が基本コンセプトに反映されていないように思うが、具体的な方向性を示して欲しい。</p>	<p>基本構想では「児童コーナーの図書等を充実するとともに、各種メディアを活用した親子が楽しめる機能を備える」「多様な人材を拡充する」としており、ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
124	<p>4-2「大学や専門機関との連携関係…」の「関係」の文字は不要。1-1の「知のゲートウェイ」と被っている。</p>	<p>大学や専門機関等との連携のための関係構築は重要と考え、「連携・ネットワーク」において、大学や専門機関等との連携について記載いたしました。</p>
125	<p>「学校図書館のニーズに応え、ふるさと石川の未来を担う人材教育のバックアップ」という意味が分からない。</p>	<p>学校におけるふるさと教育のバックアップなどを想定しております。</p>
126	<p>県民の必需施設ではあるが、決してパートナーではない。</p>	<p>新しい図書館では、県民のライフステージ上の課題解決支援や、県民の知的創造活動の支援に取り組むとしており、新たな図書館像として「県民のパートナーとして共に成長する図書館」といたしました。</p>

No.	意見内容（要旨）	左記に対する考え方
127	コンセプトや図書館像、方向性が整理されているものの、こんなに多くの事を求め、実行できるかというのが本音である。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
128	見栄えの良い「付加価値」ではなく、骨のある「基本理念」を示して欲しい。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
129	全体にカタカナが多すぎる。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
130	資料構成について、非常に分かりやすい構成になっていると思うが、利用者視点での図書館での活動イメージは分かりにくいと感じた。	「利用者視点での図書館での活動イメージ」は、新たな県立図書館が単に本を読むだけではなく、様々な活動ができる場であることを表現するため、想定される活動を例示しました。
131	図書館という概念があまりにも膨らみすぎている現代において、逆に「図書館はあくまでも図書館である」という考えに踏みとどまることも大切。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
132	「加賀は天下の書府」という言葉を良く耳にするが、絶賛された資料群は東京にあるので、自慢げに言葉にしないで欲しい。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
133	来館者数、貸出冊数の数字がついて回ると思うが、他の図書館と比較して職員を追い立てるようなことはして欲しくない。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
134	新図書館建設予算の一部を基金にして長期的に使っていくことは可能か。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
135	県庁の仕事の見える化を図る知事部局住民直接サービス機能、研修室等の生涯学習機能、展示等の美術・歴史・公文書機能、カフェや自由な空間がある県民交流機能を備え、県民地域住民への「行政サービス満足度日本一」の構築を目指すべきである。	基本構想では「新石川県立図書館の基本コンセプト・新たな図書館像」「主な機能の方向性」において、新たな図書館のあり方を整理しております。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
136	「縦割り行政から横割り行政での行政サービス集約・統合型地方創生複合公共施設」として、旧来の読書・学習の図書館を「核」に、地域住民寄贈図書コーナー、企業等寄贈図書コーナー、地域郷土資料コーナー、児童教育コーナーを設けてはどうか。	